

イチ
おおいた市推しショット!!

表紙の写真は、平和市民公園の裏川沿いに今年初めて設置されたこいのぼり

こちらのこいのぼり・・・実は、ご家庭で不要になったものを集めたんです!

設置したのは、津留地区まちづくり協議会、公民館等地域の皆さんで、こいのぼりが均等に、色とりどりにみえるよう工夫しながら力を合わせていました

たくさんのおいのぼりが空を泳ぐ姿は壮観!

地域を盛り上げる毎年の風物詩になりそうですね

大分市公式SNSでは、イベント情報やまちの風景など大分市の魅力を発信中。市報表紙のオフショットを掲載することもぜひご覧ください



市公式 SNS



市公式 SNS はこちら▲

わが家のおかず!

おおいた香り野菜レシピ

大葉ハンバーグ ~柚子胡椒仕立て~



大葉

大葉は、「青じそ」とも呼ばれる日本のハーブで、独特の香り成分には、強い抗菌・防腐作用があり、また消化酵素の分泌を促し、食欲を増進させると言われているほか、β-カロテンやカルシウムが豊富*に含まれています。

※参考：日本食品標準成分表2020年度版

●材料(4人分)

| | | | |
|------|------|--------|------|
| 豚ひき肉 | 400g | ★調味料 | |
| 白ネギ | 2本 | みそ | 大さじ2 |
| 大葉 | 20枚 | 酒 | 大さじ2 |
| | | 片栗粉 | 大さじ2 |
| | | しょうゆ | 小さじ2 |
| | | ゆずごしょう | 小さじ2 |

●作り方

- ① 白ネギの白い部分をみじん切りにします。
- ② ボウルに豚ひき肉と①と★を入れて軽く混ぜ合わせます。
- ③ ②に大葉をちぎって入れ、粘り気が出るまで混ぜます。
- ④ 中の空気を抜きつつハンバーグの形に整え、中火のフライパンで焼きます。
- ⑤ 焼き目がついたらひっくり返し、お湯を入れて4分間蒸し焼きにして完成です。

レシピ提供者：JAおおいた大分市大葉部会 料理アドバイザー(料理研究家) 坂本 薫氏

農政課 ☎537-7025

市民図書館からのお知らせ

本のお医者さん

～本のなおしかた、教えます～

自宅に修理したい本がある、中学生以上の一般市民を対象に、本の修理方法を学ぶ講座を開催します。

日時：6月4日(土) 午前10時～正午

場所：市民図書館2階 会議室

定員：10人(要事前申込み)

申込み：直接または電話で、5月15日(日)から市民図書館へ。



市民図書館 ☎576-8241

このコーナーでは、市民図書館が所蔵している新刊を紹介합니다。



こいのぼりパーティー ぐんぐんすくすく
すとあさえ：文 山田花菜：絵 川島雅子：レシピ提供
ほるぷ出版

料理好きの本屋のままこさんは、こどもの日にあつくんとかよちゃんとこいのぼりパーティーをすることに。3人はかしわ餅やこいのぼりフルーツパイなどを楽しみながら料理していきます。子どもの成長を願いながら、家族一緒に料理をしてみませんか。

お一人さま逃亡温泉

加藤亜由子：著
みらいパブリッシング

春からの新生活や環境の変化、新しい人間関係で気疲れした体に、のんびりお一人さま温泉はいかがでしょう。「名湯こそ、心身を浄化してくれる」をモットーに、日本各地の温泉が紹介されています。温泉で心身ともにリフレッシュしませんか。



人権・同和教育シリーズ 521

性別って関係あるの？



人の生き方を考える

娘は、中学校で初めて野球部に入りました。娘が野球をしたと言いだしたとき、わたしは娘が心配で「え、女の子で野球部？」と言いました。しかし、娘はどうしても入りたいと言いつて聞かず、その後同じように声を掛けるたび、娘はムツとして不機嫌になりました。

ある日、娘が練習中に顔にできた擦り傷の手当てをしていました。わたしは「女の子なのにそんな傷をつくて。やっぱ野球は無理よ」と言うと、娘はわたしをにらんで「何が無理なの？知らないくせにそんなこと言わないでよ。うるさいなあ」と言いました。わたしも負けずに「あなたのことを心配して言ってるのよ。女の子なんだから、今からでも他の部活にしたらいのよ」と強く言い返してしまいました。すると、娘はわたしをじっと見て「野球をするのに性別って関係あるのかな。わたしが男だったら、お母さんそんなこと言ってくれないのうれしいけど。女だからって理由で、自分のしたいことを我慢しなきゃならなかったら、お母さんは耐えられるの？わたしはそんなのおかしいと思う」と言ったのです。娘の言葉を聞いて、わたしは「何も言い返せませんでした。」

後日、練習を見に行くこと、楽しそうに他の部員と練習している娘の姿がありました。娘がチームメイトと生き生きと過ごしている姿を見て「本当に野球が好きなんだなあ」と思った瞬間、娘に対するわたしの心配は、一方的な自分の考えを押し付け、娘の生き生きとした姿や可能性を奪おうとしていたことに気付いたのです。

練習を見に来ていたわたしに気が付いた娘が、笑顔で手を振ってくれました。わたしは、これからは娘の一番の応援団長でありたいと思いがながら、笑顔で手を振り返りました。

本人が選べない性別や生まれ、国籍などを理由に、その人の可能性を奪うことはあってはなりません。

相手の思いや願い、その人らしさを尊重することが大切ではないでしょうか。